



『SDGs 未来都市』に選定されました！

－ 「環境モデル都市」から新たなステージへ －

7月1日、生駒市を含む31都市が「SDGs 未来都市」に選定され、内閣総理大臣から「SDGs 未来都市の選定証」が授与されました。

生駒市では、環境モデル都市アクションプラン等に基づき、地域新電力会社「いこま市民パワー株式会社」を設立し、様々な地域課題の解決を図る地域モデルの構築を目指してきました。

今回の選定は、いこま市民パワーを核とする取組を推進することがSDGs（持続可能な開発目標）の達成に資すると認められたものです。

今後は、SDGsを達成するため、「環境モデル都市」としての取組をさらに発展させ、様々な課題と向き合う地域モデルの実現を目指していきます。

■ SDGs 未来都市とは

SDGs 未来都市とは、SDGsの理念に沿った基本的・総合的取組を推進しようとする都市・地域の中から、特に、「経済」・「社会」・「環境」の3側面における新しい価値創出を通して、持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域を内閣府が選定するものです。

平成30年度には29都市が、今回は生駒市を含む31都市が選定されました。



SDGs 17のゴール

■ 生駒市のSDGs 未来都市の取組

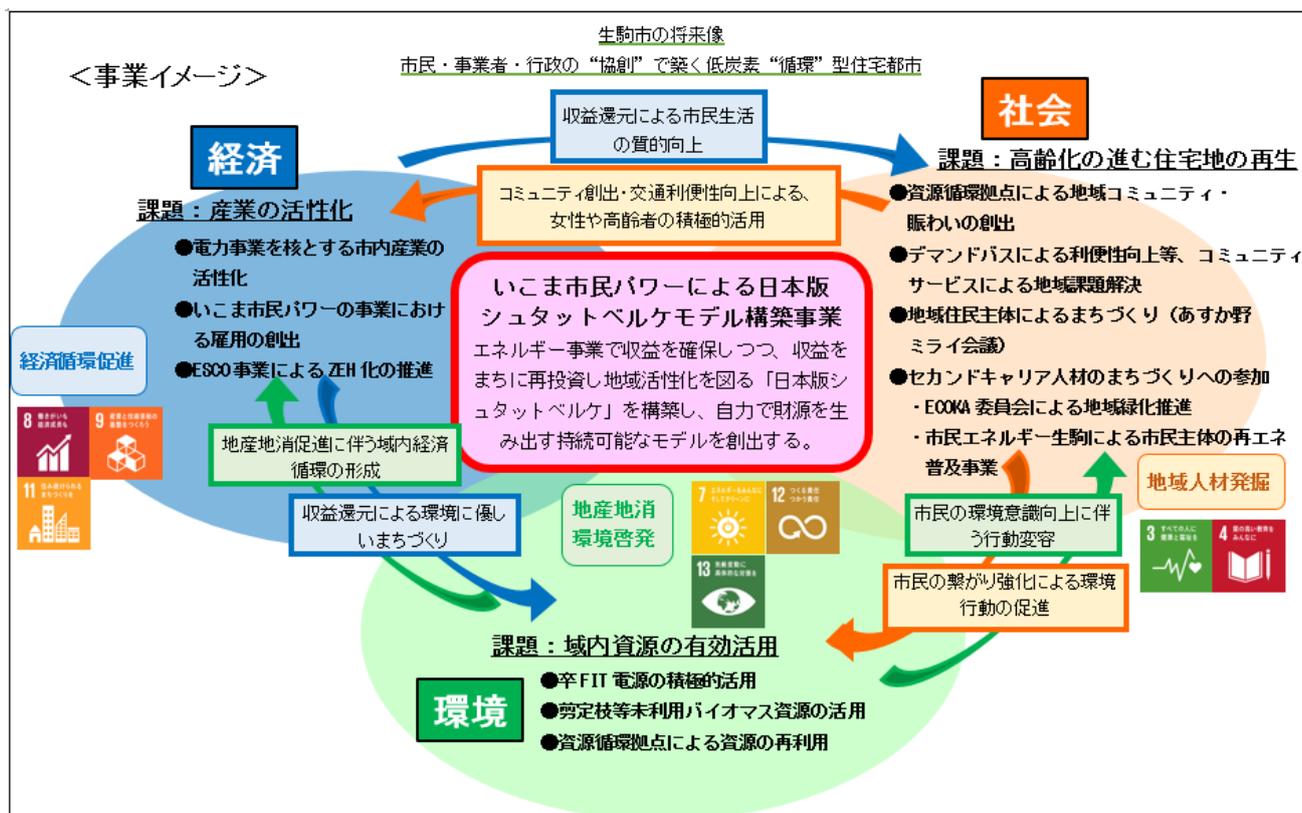
SDGs 未来都市は、「SDGsモデル」の構築に取り組むこととなりますが、生駒市では、「いこま市民パワー株式会社」を核として、再生可能エネルギー拡大によるエネルギーの地産地消の推進、市内産業の活性化、収益の還元による地域課題の解決、市民のまちづくりへの参画の促進など、「経済」・「社会」・「環境」に関する課題に対応し、「日本版シュタットベルケ（※）モデル」の実現を目指します。

このほかにも、生駒市総合計画のほか、生駒市環境基本計画や生駒市環境モデル都市アクションプラン等の関係計画に基づく施策に、SDGsの視点から総合的に取組み、住宅都市における持続可能モデルを創出します。

（※）シュタットベルケとは

ドイツにおける、電気、ガス、水道、交通などの公共インフラを整備・運営する公社のこと。複数のサービス提供を1つの事業体で行うことで地域密着の公共サービスの提供を目的としている。

【 地域新電力会社「いこま市民パワー」による日本版シュタットベルケモデルの実現 】



■ SDGsとは

SDGs (エスディージーズ: Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標)とは、平成27年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年に向けた持続可能な社会を構築するための国際目標です。

SDGsは、持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」等の優れた理念が示されています。この考え方は行政だけでなく、民間事業者の行動指針等としても広く採用されつつあります。

この件に関する報道関係からのお問い合わせ

生駒市環境モデル都市推進課 (課長 竹本) ☎0743-74-1111(内線 371)